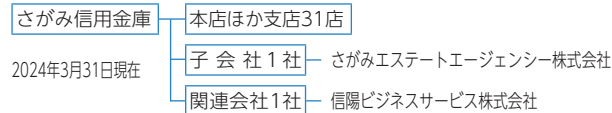


連結決算の状況

さがみ信用金庫グループの主な事業内容及び組織の構成

さがみ信用金庫グループは、さがみ信用金庫、子会社1社、関連会社1社で構成され、信用金庫業務を中心に、事務処理代行業務などの金融サービス業務を提供しています。（子会社・関連会社の状況は15ページをご覧ください）



連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2022年度 2023年3月31日現在	2023年度 2024年3月31日現在
(資産の部)		
現金・預け金	317,384	383,652
買入金銭債権	280	199
有価証券	227,819	194,022
貸出金	351,847	364,439
その他資産	4,326	5,936
有形固定資産	9,349	9,239
無形固定資産	219	274
退職給付に係る資産	575	733
繰延税金資産	582	622
債務保証見返	75	78
貸倒引当金 (うち個別貸倒引当金)	△ 5,451 (△ 4,768)	△ 4,752 (△ 4,052)
資産の部合計	907,009	954,447

単位：百万円

科目	2022年度 2023年3月31日現在	2023年度 2024年3月31日現在
(負債の部)		
預金積金	853,396	894,895
借入金	26,100	31,600
その他負債	1,905	2,377
賞与引当金	240	360
退職給付に係る負債	—	—
役員退職慰労引当金	109	110
繰延税金負債	—	—
債務保証	75	78
負債の部合計	881,827	929,422
(純資産の部)		
出資金	3,078	3,019
利益剰余金	29,403	29,630
処分未済持分	△ 0	△ 0
会員勘定合計	32,481	32,648
その他有価証券評価差額金	△ 7,299	△ 7,624
評価・換算差額等合計	△ 7,299	△ 7,624
純資産の部合計	25,182	25,024
負債及び純資産の部合計	907,009	954,447

連結損益計算書

単位：千円

科目	2022年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日	2023年度 2023年4月1日～ 2024年3月31日
経常収益	8,709,781	10,767,150
資金運用収益	7,172,221	7,671,438
貸出金利息	4,962,667	5,015,221
預け金利息	402,798	753,309
有価証券利息配当金	1,721,241	1,818,124
その他の受入利息	85,512	84,783
役員取引等収益	1,047,896	1,040,734
その他業務収益	261,505	150,795
その他経常収益	228,158	1,904,181
貸倒引当金戻入益	—	134,171
償却債権取立益	10,453	63,361
その他の経常収益	217,705	1,706,648
経常費用	7,819,512	10,116,908
資金調達費用	150,409	190,675
預金利息	143,101	148,015
給付補填備金繰入額	1,901	1,628
借用金利息	3,048	38,870
その他の支払利息	2,357	2,161
役員取引等費用	742,720	760,983
その他業務費用	793	2,569,016
経費	6,269,054	6,394,072
その他経常費用	656,534	202,159
貸倒引当金繰入額	267,156	—
その他の経常費用	389,378	202,159
経常利益	890,268	650,242
特別利益	892	953
固定資産処分益	25	333
その他の特別利益	867	620
特別損失	94,217	128,891
固定資産処分損	27,318	31,820
減損損失	61,039	92,496
その他の特別損失	5,860	4,574
税金等調整前当期純利益	796,943	522,303
法人税、住民税及び事業税	16,788	11,794
法人税等調整額	129,578	△ 39,626
法人税等合計	146,367	△ 27,832
当期純利益	650,576	550,135
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	650,576	550,135

(注) 連結財務諸表の作成方針

1. 連結の範囲に関する事項

- 連結される子会社及び子法人等 1社
会社名 さがみエステートエージェンシー株式会社
- 非連結の子会社及び子法人等 1社
会社名 信陽ビジネスサービス株式会社

非連結の子会社及び子法人等は、その資産、経常収益、当期純利益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等からみて、連結の範囲から除いても企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しています。

2. 持分法の適用に関する事項

持分法の適用の非連結子会社及び関連会社は該当ありません。

3. 連結される子会社及び子法人等の事業年度に関する事項

連結される子会社及び子法人等の決算日は次のとおりです。
3月末日 1社

4. のれんの償却に関する事項

該当事項はありません。

5. 剰余金処分項目等の取り扱いに関する事項

連結剰余金計算書は、連結会計年度において確定した剰余金処分に基づいて作成しています。

連結決算の状況

連結剰余金計算書

単位：千円

	2022年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日	2023年度 2023年4月1日～ 2024年3月31日
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	—	—
資本剰余金増加高	—	—
資本剰余金減少高	—	—
資本剰余金期末残高	—	—
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	28,815,433	29,403,154
利益剰余金増加高	650,576	550,135
親会社株主に帰属する当期純利益	650,576	550,135
利益剰余金減少高	62,854	323,259
配当金	62,854	61,286
連結子会社減少による剰余金の減少	—	261,972
利益剰余金期末残高	29,403,154	29,630,031

2023年度連結決算の概況

2023年度の連結決算の概要は、経常収益が107億67百万円、経常利益が6億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が5億50百万円となりました。

連結対象子会社の当期の取引は、主にさがみ信用金庫の委託契約によるものです。単体決算と比較し、連結の経常利益は4百万円、連結の当期純利益は2百万円の増加となりました。

事業の種類別セグメント情報

連結会社は信用金庫業務以外に不動産管理業務等の事業を営んでいますが、それらの事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載していません。なお、連結会社に金融子会社・保険子法人はありません。

連結の主要な経営指標の推移

単位：百万円

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
経常収益	9,881	9,099	9,864	8,709	10,767
経常利益	625	774	729	890	650
親会社株主に帰属する当期純利益	428	559	643	650	550
純資産額	30,621	34,312	31,424	25,182	25,024
総資産額	779,347	917,239	928,160	907,009	954,447
連結自己資本比率	9.59%	9.45%	9.57%	9.95%	9.26%

連結の自己資本の状況

さがみ信用金庫の連結自己資本比率は、国内基準である4%を上回っており、単体同様、経営の健全性・安全性を確保しています。

なお、連結子会社の自己資本は主に当金庫の出資金や内部留保による資本の積み上げで構成されており、これ以外に特段の資本調達は行っていません。また、連結グループ内での資金及び資本の移動の制限はありません。

連結の信用金庫法開示債権の状況

連結対象の子会社には、貸出債権がありませんので、さがみ信用金庫単体の数字が連結の信用金庫法開示債権の状況になります。

(注) さがみ信用金庫単体の信用金庫法開示債権の状況は、11ページをご覧ください。

子会社・関連会社の状況

(2024年3月31日現在)

会社名	所在地	主な業務内容	設立年月日	資本金	当金庫 出資比率	当金庫の子会社 等の出資比率
さがみエステートエージェンシー株式会社	小田原市本町2-9-25	不動産管理、 担保不動産評価等	1991年2月8日	20百万円	100%	—
信陽ビジネスサービス株式会社	小田原市本町2-10-27	電子計算機利用 システム開発等	1988年11月25日	12百万円	10%	—